

## 実習プログラミングシート

段階	月日	実習課題 (ねらい)	具体的実習内容 (実習経験)	必要な価値・知識・技術	指導方法・指導上の留意点	教材	チェック 欄
事前学習		①実習に対する姿勢の確認 ②社会福祉の基本的知識の習得 ③障害福祉施設の各事業内容の理解 ④施設概要の理解 ⑤実習目標と課題の明確化 ⑥実習地域の障害福祉を取り巻く社会資源を知る。	・事前訪問する ・社会福祉行政について学習する ・障害者総合支援法について調べる ・施設提供の資料を確認する ・実習計画書を作成する	〔価値〕権利擁護・虐待の防止・家族支援・ノーマライゼーション 〔知識〕障害者総合支援法・障害者虐待防止法・障害者差別解消法・地域福祉 〔技術〕情報収集の方法、情報分析理解、	・実習中の注意事項の説明 ・資料等による調査 ・配布資料の読解 ・非審判的、対等な立場であることを伝える。	・厚労省 HP ・法人 HP ・日進市 HP ・施設からの配布資料	
職場実習		①施設の概要について知る ②施設の運営理念や運営方針について知る ③利用者の障害について知る ④施設的位置づけ等について学ぶ ⑤リスクマネジメントについて学ぶ ⑥利用者一人ひとりを知る ⑦利用者にとって日中活動する意義を学ぶ ⑧生活支援員の業務と利用者との接し方について学ぶ ⑨サービス管理責任者の業務と役割を知る ⑩看護職員の業務と役割を知る ⑪職場実習の振り返り	①施設概要説明、施設案内(各作業場等について説明) ②③運営理念、障害について、施設の組織・法的根拠、利用までの手続き方法等についての説明 ⑤個人情報保護、リスク管理について ⑥⑦日中活動の見学・説明・体験、合理的配慮を意識する ⑧生活支援員の業務の理解と利用者の活動観察をする。 ⑨サービス管理責任者の業務の理解 ⑩看護職員の業務の理解 ⑪職場実習の反省をする。	〔価値〕人権・権利擁護意識・虐待防止・直接的支援と間接的支援・コミュニケーション 〔知識〕障害者総合支援法・障害者虐待防止法・障害者差別解消法・社会福祉法・地域との関係 〔技術〕礼儀作法・コミュニケーション技法・情報分析技術・観察力・表現力・創造力・感性	①～④施設の概要、障害について説明する ⑤個人情報の扱いやリスク管理について記録を読んでもらう。また説明する ⑥⑦日中活動を見学・体験し、その意義を説明する。合理的配慮を意識した関わりを説明する。 ⑧⑨⑩各職種より業務の説明と支店を説明する。 ⑪スーパービジョン	①法人パンフレット、組織体制図 ②運営規程、事業計画、事業活動報告、指定通知書 ③身障手帳、愛護手帳、受給者証等 ④障害者総合支援法、受給者証、契約書／重要事項説明書 ⑤事故報告書、ヒヤリハット報告書 ⑥⑦⑧⑨⑩個別支援計画、障害者虐待防止法、障害者差別解消法	
職種実習		①ソーシャルワーカーの業務(周辺業務についても)を知る ②地域の社旗資源や関連施設、取引企業等を知り、連携の必要性、連携の取り方を知る ③ボランティアの受け入れ等について知る。 ④苦情解決、権利擁護について学び、相談員の役割を知る ⑤面接技術、記録の取り方を知る ⑥支援計画モニタリングについて学ぶ ⑦職種実習の振り返り	①担当職員と一緒に行動し観察する ②関係する行政機関や社会福祉協議会等の社会資源を訪問見学する ③施設でのボランティアの受け入れ、活動など経験する ④苦情解決、権利擁護について制度や法令を学び、苦情解決制度を学ぶ ⑤⑥面接に同席する、ケース記録をつけるなど、個別支援計画作成に向けた動きを行う ⑦職種実習の反省をする	〔価値〕秘密保持、プライバシーの尊重、利用者本位、非審判的態度、他職種連携、権利擁護、虐待防止 〔知識〕相談員の役割、年金制度、障害支援区分認定調査、手帳申請、地域の特性 〔技術〕面接技術、観察技術、分析技術、評価技術、感性	①説明し、観察、記録を取ってもらう ②同行し、見学、説明を行う ③ボランティアについて説明し、上入れることの異議を感じてもらう。 ④苦情解決制度について説明する ⑤面接の注意点を伝え同席させる ⑥個別支援計画のモニタリング会議(ケース会議)に同席させる ⑦スーパービジョン	②社会福祉士行動指針 ③地域の社会資源のパンフレット等 ④日本社会福祉士倫理綱領、 ⑤ケース記録等	
ソーシャルワーク実習		①障害者総合支援法の中の個別支援計画について知る ②施設サービスにおける個別支援計画の位置づけを知る ③アセスメントの使い方を知る ④対象利用者を決め、情報収集のための手法について学ぶ ⑤他職種と連携を取ることの重要性と、連絡、調整の技術について学ぶ ⑥利用者の生活歴や生活の全体を総合的にとらえる視点を学ぶ ⑦アセスメントの方法の確認 ⑧個別支援計画を作成する ⑨活用できる社会資源について学ぶ ⑩個別支援計画を利用者に説明し、同意を得ることを学ぶ ⑪できそうな個別支援計画を実施する ⑫個別支援計画実施後の反省 ⑬実習全体を終えて、実習の聖火や課題を振り返る	①障害者総合支援法の中の個別支援計画を理解し、作成するための準備を行う ②実際の個別支援計画を見て説明を受ける ③アセスメントの使い方を学ぶ ④対象利用者を選定し情報を集める ⑤他職種との連携の取り方を学ぶ ⑥面接や訪問慶弔等の手法を知り、利用者をトータルでとらえ、「解決すべき課題」を明らかにする ⑦他職種との連携等を総合的に捉える視点を学び、課題を確認する ⑧適時、不足部分を再アセスメントし、別支援計画の作成と検討をする ⑨施設職員が立てた個別支援計画と比較する ⑩実際に個別支援計画の説明、同意を得る。また、職員にも説明する ⑫個別支援計画全体の反省をする ⑬実習全体を振り返り反省をする	〔価値〕人間の尊厳・利用者本位・個別化・権利擁護・虐待防止・個人情報保護 〔知識〕障害者の生活・障害者の心身の機能・障害者の心理・医学的知識・他職種連携と専門職の特徴 〔技術〕ケースマネジメント・エコマップ・面接技術・情報分析・情報管理・文章表現・他職種との連携・感性	①障害者総合支援法の基本を説明し、法令上の個別支援計画を立てる意味を説明する ②施設で作成した個別支援計画を見せる ③施設で使用するアセスメントシートの使用方法を説明する ④実際に面接を行いアセスメント方法を伝える ⑤他職種より情報を得よう指導する ⑥エコマップ等を使ってみる ⑦アセスメントの状況を確認し、スーパービジョンを行う ⑧利用者の「自立」とは何かを念頭に計画を作成してもらう ⑨作った計画を説明してもらう ⑩対象利用者実際に説明してもらう ⑪他機関や他職種との調整、ニーズの中の実施可能なものを実施してもらう ⑫個別支援計画の全体を振り返る ⑬実習全体を振り返りスーパービジョンを行う  ※利用者本位が原則ではあるが、そのご家族が居ることも念頭におくことを意識してもらう。それが必ずしも一致しないことがあることを知る	①障害者総合支援法 ②施設の個別支援計画作成ツールと事例 ③演習用アセスメントシート ⑬アンケート	